

図書館だより



楠葉図書館にて

枚方市立図書館通信第75号

<http://www.city.hirakata.osaka.jp/site/sub-news/tayori.html>

発行：平成25年3月 枚方市立中央図書館（毎週金曜日・第4火曜日休館）050-7105-8121（こどものフロア）

〒573-1159 枚方市車塚2-1-1 TEL 050-7105-8141(代) FAX 072-851-0962

まだまだ寒い日が続きますが、田んぼのあぜ道にはつくしが頭を出しはじめ、春の兆しを感じられる今日この頃になりました。春はすぐそこです。

寒暖の差が激しい毎日ですが、体調をくずさないようにしましょう。

図書館では皆様のご利用をお待ちしています。

●『中学生の調べ学習コンクール』の作品を展示 来館者による人気投票をします。 ぜひご参加ください。

展示期間：3月13日～31日

投票期間：3月13日～24日

場 所：中央図書館

表彰式：3月31日 10時～

問合せ：中央図書館こどものフロア TEL050-7105-8121

【 休館のお知らせ 】

（給排水設備改修工事のため）

さだ図書館及び生涯学習市民センター

H25年2月4日（月）～3月15日（金）

※さだ図書館では休館中も予約・リクエストの受付・予約資料の受け渡しの業務を行います。

（土・日曜日午後5時、平日午後7時まで。月曜日と第3木曜日を除く）

●縄文時代から食べられていたあずき（小豆）

赤飯やあんこの原料小豆は、おもに中国・韓国・日本などの東アジアで食べられており、日本では縄文遺跡から発見されています。

「古事記」によると、小豆は「阿都岐^{アズキ}」とあり、中国の「小豆^{シャオトウ}」と同じ作物だと書かれています。中国から赤い小豆は厄除の力があるという信仰が入り、主に赤い小豆が祭り事や祝い事で食べられるようになりました。



病害虫が多く、暑さ寒さにも弱いため良質な小豆の収穫はむづかしく「赤いダイヤ」とも呼ばれています。また煮るとへそと呼ばれる部分が切れやすいため、切腹を嫌う江戸時代の武士はささげ豆で赤飯を炊いたり、切腹のない大納言職にちなみ、大粒で良質なものは「大納言小豆」と呼び、今もその名がついています。

日本の消費量は約12万トンで、半分は北海道で生産、約3万トンは中国から輸入されています。全体の80%は和菓子のあん原料に使われているそうです。3月は卒業式など人生の節目の月です。赤飯などで小豆を食べる機会も多いのではないのでしょうか。

各図書館と分室の3月のイベント情報

○読書会

- 香里ヶ丘(図) 中高生読書会『バチカン奇跡調査官 黒の学院』藤木凜・著／角川書店
 - 3月16日(土) 午後3時 2階ホール
- 枚方公園分室読書会『仏果を得ず』三浦しをん・著／双葉社
 - 3月22日(金) 午前10時半



○乳幼児向けおはなし会

- 中央(図)
 - 「0歳のおはなしひろば」午前10時半
 - 「1歳からのおはなしひろば」午前11時10分
 - 3月13・27日(水)
- 牧野(図)「親子で楽しむおはなし会」
 - 3月13日(水) 午前11時



○工作など

- 東香里分室 工作「マイ・ペンダントをつくらう」3月16日(土) 午後1時～4時
- 香里園分室 工作「びっくりばこをつくらう」
 - 3月16日(土) 午後1時～4時
- 釈尊寺分室 工作「つくってあそぼう！まとあてマシーン」
 - 3月27日(水) 28日(木) 午後1時～4時半
- 茄子作分室 工作「びっくりへびをつくらう」
 - 3月13日(水) 午後1時～4時半
- 氷室分室 工作「あお虫くんをつくらう」
 - 3月21日(木) 午後1時～4時半
- 宮之阪分室 工作「モグラたたきをつくらう！」
 - 3月21日(木) 午後2時～4時半
- 藤阪分室 工作「花かざぐるま」を作ろう
 - 3月23日(土) 午後1時～4時

○その他

- 中央(図) 手話で楽しむおはなし会
 - 3月23日(土) 午後2時
- 香里園分室「手話の会」
 - 3月8・22日(金) 午前10時半～12時
- 藤阪分室「手話の会」
 - 3月11・25日(月) 午前10時～12時(全てのイベントは掲載していません。詳細は各館室まで。)

ふれあいルーム (絵本で子育て)

- 中央図書館 毎週月曜日
- 香里ヶ丘図書館 第1・3(金)第2・4(木)
- 楠葉生涯学習市民センター 第2・4火曜日
- 菅原図書館 毎週日曜日
- さだ図書館 毎週木曜日(第3週は金)
- 牧野図書館 毎週金曜日
- 津田図書館 毎週水曜日
- 御殿山図書館 毎週金曜日

いずれも10時～12時30分(楠葉のみ9時30分～12時)但し、図書館等の休館日には実施しません。

問合せ先(子育て支援室)072-841-1221代

ちょっと紹介

「着ればわかる」

(酒井順子 著／文藝春秋)

誤解や間違いのないよう、まず最初にきちんとお断りしておこう。この本は決して「コスプレ」の本ではない。本書は雑誌「オール読物」に不定期連載されていたものを単行本化したもので、人はなぜ制服を着用するのか、というテーマに基づき、制服のもつ実用性や機能美について実際に検証してみようという、いたってまじめな本である。

紹介されている制服はセーラー服、スチュワーデス、バスガイドといったメジャーなものから茶摘み娘、タカラジェンヌ、陸上自衛隊…といったコアなものまで全18種。これらの制服を著者が関係者の指導のもとで実際に「試着」し、なおかつその仕事の一端をも体験するという興味深い内容となっている。

大の鉄道好きとしても知られ、鉄道の旅をこよなく愛する彼女のルポを鉄道雑誌や旅行雑誌などで読まれた方もおられるのでは？ その文体は決して華やかではないが、落ち着きのある中にも細やかな観察眼と考察が随所に散りばめられており、好ましく感じるのは小生の鼻真目か。

憧れの制服に身を包み、興奮と高揚感を覚えながらも決してその場の雰囲気流されて終わり…ではなく、きちんとその制服の「存在意義」について冷静に分析しているところはさすがだ。

(楠葉図書館 T)